

# 1月臨時議会報告



# 出産・子育て応援給付金可決

## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

1月23日に臨時議会が開催されました。議案は一般会計補正予算1件で約2億8千万円の増額し、総額約23億8千万円にします。予算常任委員会が「子育て応援給付金やコロナ感染者濃厚接触者無給支援金について質疑が行われ、本会議では全員賛成（議長を除く）で可決しました。また同日付で後藤英樹議員が一身上の都合により辞職しました。

### 出産子育て応援給付金

国が制度化した出産、子育て応援交付金に基づき、妊娠から出産・子育てまで一貫した相談支援の充実と令和4年4月以降の出産に対して10万円の経済支援を行うものです。基本となる事業内容は、左図のとおりです。令和4年度の予算総額は3千9百万円となっています。

### 財源には消費税増税発言も

今回の措置は、国の補正予算によるもので、令和4年・5年の経済的支援は国・5年市6市6町などとしていきます。しかしこれらの事業は今後恒久事業として制度化が必要ですが、令和6年度以降の財源の問題は明確にされていません。岸田首相は、通常国会で子育て支援を「最重要政策」と表明していますが具体的な施策や財源は6月以降としており、また自民党の中には消費税増税などの発言もあり不透明です。「防衛費」の増額問題は、あれだけ熱心なのに本気度が疑われます。

### 子育て支援の取り組み

今回の施策で本当に少子化に歯止めをかけられるのか。今多くの子育て世代が訴えるのは、教育にかかる負担の軽減、医療費の軽減、保育所等の整備、休暇取得等子育て環境の整備です。ジェンダー平等、賃金の引上げも必要です。このような総合的な対応が必要と言われています。

### 米原市も独自の取り組み

米原市は「県下一子育てしやすいまち」を標榜しており、積極的な取り組みが求められます。しかし「学校給食費の無償化」や「高校卒業まで医療費の無償化」の要求に対して冷たい態度です。独自の子育て支援を強く求めたいと思います。

### コロナ無給支援金

新型コロナウイルスに感染したり濃厚接触者となり



### 雑感

藤田議員は12月議会でおむつの持ち帰り問題を取り上げました。堀江議員も取り上げました。はつきりと「廃止」の答弁はありませんでした。23日の厚労大臣の記者会見で保育所での処分を推奨する通知を出したことを表明されました。保護者にも保育士にも負担軽減になるとして廃止すべきですが、国に言われぬと止められない。なんとなき情けない。一般質問でもあきらかになりましたが、滋賀県も持ち帰り率が全国一とテレビでも紹介していました。その中で、こどもの健康状態を把握するためのコメントを求められた女性も、誰も子どものおむつを開いて見るなど不衛生なことなどない、と言っていました。保育や教育の現場でこのようにないか。そのために保育士や教師の負担が増えているのか。このようにムダについての見直しが必要ではないか。